

2025

10/28

(火)

地球温暖化が サケに及ぼす影響

13:30～15:30

(13:00 開場・受付開始)

新日本海新聞社 中部本社
2階 ホール

(倉吉市上井町1丁目156番地)

*会場については裏面をご覧ください

～サケを守りつつ、サケの恵みを受ける～

鳥取県では、毎年10～11月にサケの遡上が確認されています。

しかし、2022年頃から遡上するサケの数が激減し、産卵孵化飼育に限らず、稚魚の確保も困難な状況となっています。他の都道府県においても同様の現象が起っており、深刻な問題となっています。

そこで、鳥取県内のサケ・取組などの現状を知る機会とするほか、長年サケの生態を専門に研究を続けられ、世界的にも名高い講師をお招きして、なぜサケの遡上量が減少しているのか、サケの成長・来遊過程で何が起きているのか、地球温暖化がどのように影響を及ぼしているのかなどを、学ぶ講演会を開催します。サケの保全のために私たちができることについて考えましょう。

プログラム ※予定

開会・挨拶 13:30～13:35

前説・発表 13:35～14:10

発表1 13:40～13:55

『鳥取県におけるサケ放流等の取組報告』

なかまえ ゆういちろう
発表者 **中前 雄一郎 氏**

サケの飼育放流プロジェクト 代表
海苔産地サケ放流プロジェクト 代表 鳥取県生物多様性アドバイザー 漁師

発表2 13:55～14:10

『鳥取県東部におけるサケ稚魚の出現について』

おた たろう
発表者 **太田 太郎 氏**

公立大学法人公立鳥取環境大学環境学部 環境学科 准教授
農学博士 (京都大学) 専門は魚類生態学・水産資源生物学・漁業制度及び漁業法令

講演 14:10～15:10

『地球温暖化がサケに及ぼす影響』

～サケを守りつつ、サケの恵みを受ける～

講師

【講師プロフィール】



かえりやま まさひで
帰山 雅秀 氏

国立大学法人北海道大学
名誉教授
北極域研究センター 研究員

帰山 雅秀 (かえりやま まさひで) 1949年生まれ 北海道小樽市出身
・国立大学法人北海道大学名誉教授 水産学博士 ・専門は魚類生態学 水圏保全生態学
・北海道大学水産学部水産増殖学科卒業 同大学大学院水産科学研究科博士課程修了
・水産庁さけ・ます資源管理センター調査課生物資源研究室長 北海道東海大学工学部海洋開発工学科教授 アラスカ大学フェアバンクス校水産海洋学部客員教授併任 北海道東海大学大学院理工学研究科研究科委員長 北海道大学大学院水産科学研究科教授 2013年同大学名誉教授 同大学国際本部特任教授 2018年同大学高等教育推進機構客員教授併任 同年4月から現職
・日本動物学会論文賞(1998) 日本水産学会水産学進歩賞(2006) 日本水産学会賞(2019)
第57回読売農学賞(2020) 日本農学賞(2020) 北海道科学技術賞(2021)
30th Anniversary - Influential Research from the last 30 years (2021)

・日本におけるサケ科魚類研究の先駆者。国際的視野でサケ類の生活史個体群動態、種間相互作用等の生態学を基礎とした研究・教育を進め、サケ(シロサケ)の鱗分析による年齢・成長履歴と個体群動態の解析から、回帰個体の小型化や高産卵力(個体数増加)に起因する密度効果によることを初めて実証し、環境収容力の概念の有効性を示した。また、長期的な気候変動がサケ類の環境収容力と海洋生態系に及ぼす影響や今後の地球温暖化がサケの海洋分布や回遊に与える影響、知床世界自然遺産地域におけるサケ類の産卵遡上が海由来の物質を海から森に運ぶ物質輸送のメカニズムを明らかにしている。これらの成果は、国際的にも高く評価され独創的、先駆的なものであり、サケ類の資源管理のみならず海洋生態系の保全にも貢献している。

質疑応答 15:10～15:30

閉会 15:30

Q 右のサケ①と②は
どちらがオス?メス?
(正解は裏に)



令和7年度鳥取県内水面漁業振興講演会 参加申込書

申込方法 参加者をご記入の上、電子メールまたはファクシミリにてお申し込みください。

申込先 鳥取県農林水産部水産振興局水産振興課 岡崎 宛

→メール：okazakid@pref.tottori.lg.jp

→ファクシミリ：0857-26-8131

申込締切 令和7年10月22日（水） ※定員80名に達し次第受付を終了します。

参加者

※一般申込みの方は、団体、所属名欄に居住市町村(例：鳥取市)を記載してください。

※駐車場のご利用については、台数と一致するように、運転される方のみ「あり」を○で囲んでください。

団体、所属名	役職等	氏 名	駐車場利用 (○囲み)
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし
			あり・なし

●上記参加者代表連絡先→

※講演会が中止となる場合など緊急に連絡させていただく際の代表連絡先を必ずご記入ください。

会場『新日本海新聞社 中部本社』

※本講演に関しての会場へのお問い合わせはご遠慮ください。

【住所】

〒682-8505 倉吉市上井町1丁目156番地

※最寄りのJRの駅：倉吉駅からは徒歩10分程度です。

【駐車場】

◎駐車場は無料ですが、駐車台数に限りがあります。

乗り合わせてお越しいただくか、公共交通機関をご利用いただきますようお願いします。

※駐車場の混雑が予想される場合は、誘導係の配置を予定しています。
その場合は誘導係の指示に従って下さい。

【その他お願い】

◎ホール内も含めて、会場(新聞社)敷地内は全面禁煙です。

また、ホール内に飲み物を持ち込まれる場合は、キャップつき容器の物(ペットボトル、マグボトル等)をお願いします。持ち込まれた飲み物、ゴミ等は必ずお持ち帰りください。

皆様のご理解、ご協力をお願いします。



【講演会に関するお問い合わせ先】

※講演会に関するお問い合わせは必ずこちらの方をお願いします。

鳥取県農林水産部水産振興局水産振興課 担当：岡崎（おかざき） TEL：0857-26-7317